

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月12日(月)

事務事業		常備消防施設維持管理事業				担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	50311
総合計画	大項目	4 安心とやすらぎを感じられるまち				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1 備えができて安全・安心なまちづくり				根拠法令 個別計画等	・ 消防力の整備指針				
	小項目	2 消防・救急体制の充実									
	主要プロジェクト										
事業概要		市民が安全・安心に暮らせるよう、各種法令等に基づき適切に消防施設を維持管理することによって、災害発生時における消防活動拠点としての即応体制を維持、確保するものである。									
目的 ※何のために		市民が安全・安心に暮らせるため。									
対象 ※誰・何を対象に		消防施設									
手段 ※どのように		法令に基づく各種定期点検・保守点検を実施し、所管課による定期的な点検を行う。									
成果 ※何を求めるか		災害発生時における消防活動拠点としての即応体制を維持、確保する。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額(円)
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	常備消防施設維持管理事業〔消防総務課〕	71,404,758	
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	常備消防施設維持管理事業〔建築住宅課〕	65,609,500	
本事業の 主な業務		・ 電気設備保安管理業務						・ 庁舎清掃業務			
		・ エレベータ保守点検						・ 寝具滅菌乾燥消毒業務			
		・ 特定建築物衛生管理技術者業務						・ 庁舎等補修修繕			
		・ 空調設備保守点検						・ 建物調査の実施			
		・ 消防用設備保守点検						・			
		・ 浄化槽保守点検、清掃業務、法定検査						・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		消防本部空調設備更新工事設計業務	消防本部空調設備更新工事 旧川本分署解体工事				
事業費	予算(現額)	59,415,000	157,841,000	101,592,000	95,878,000		
	決算額	57,892,747	137,014,258	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	27,451,000	32,771,000	32,793,000		
		一般財源	24,187,747	137,014,258	68,821,000	63,085,000	
人件費	従事職員数(人)	0.85	0.80	0.80	0.80		
	人件費相当試算※	6,597,628	6,295,646	6,943,979	6,943,979		
総事業費試算		64,490,375	143,309,904	108,535,979	102,821,979		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	施設修繕件数	目標値	件						
		実績値		25.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		修繕の件数は、意図的に定めることができないため、目標値を定めることはできない。 / 当該年度実績						
	実績値の算出式								
活動指標 2	常時稼働施設数	目標値	箇所	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
		実績値		8.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		消防活動拠点機能を維持するため、常時稼働すべき施設数を目標としている。 / 当該年度実績						
	実績値の算出式								
活動指標 3	施設稼働日数	目標値	日	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00
		実績値		2,920.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		常時災害に対応するため、8施設の稼働すべき日数を目標値としている。 / 1年365日						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	消防活動拠点機能を維持するため、定期的な目視点検を実施するとともに、施設等に不具合が発生した際には、市民影響や緊急性の高さなどから優先順位を定め効率的な修繕を実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	機能維持に欠かすことのできない設備の修繕を効果的に実施したことで、すべての常備消防施設を通年稼働させることができた。
			評価者 課長補佐兼施設係長 小川 知之

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	消防業務に係るオンライン会議に対応するため、タブレット端末台数の不足を解消したことにより、消防本部及び消防分署へ出向せずに効率的に会議の対応ができた。
			評価者 課長補佐兼施設係長 小川 知之

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	消防活動拠点となる消防施設の機能を維持管理するため、定期的な点検を行い不具合が発生した場合には必要に応じて修繕を行う必要がある。今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止も考慮した消防施設の維持管理を継続して実施し、災害発生時における災害活動拠点としての即応体制を維持、確保する。
達成状況及び その効果	新型コロナウイルス感染症拡大期も含めて、定期的な点検を行い不具合が発生した場合にも必要に応じて修繕を行うことができた。今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止も考慮した消防施設の維持管理を継続して実施する。 タブレット端末の導入に伴い、消防本部及び消防分署においても外部関係者とのオンライン会議や講習をするための環境を整備できた。


6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	常備消防施設維持管理事業	担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	50311
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		定期的な点検を行い不具合が発生した場合には必要に応じて修繕を行う必要がある。消防活動拠点となる消防施設の機能を維持管理するため、今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止も考慮した消防施設の維持管理を継続して実施する。また、花園消防署及び上柴分署は老朽化が著しく早急な対応が必要である。					
		評価者	次長兼消防総務課長 齊藤 新一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	花園消防署及び上柴分署は、大規模改修や建替えについて、さらに、建替える場所や適正な建物規模など方針を定める必要がある。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	消防施設の大規模改修や設備の更新など、大幅な予算の増加が見込まれるため、計画的に実施する必要がある。花園消防署及び上柴分署は調査研究を行い、改築等に伴う調整をする。

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	施設修繕件数
			
区分	活動指標 2	指標名	常時稼働施設数
